

お疲れさまでした！

速報文

上演校⑦ 梶山女学園高等学校

## 「パス & ライト」

紗乃 みなみ 作

### シーリングがなくとも光る努力

#### あらすじ

今回の作品は、演劇部の苦労、悩みなど…あるあるを詰め込みました。沢山共感してくださると嬉しいです。梶山演劇部員が演じる演劇部をぜひ、お楽しみください。

締帳アップ。照明フェードイン。幕が降りきるその瞬間まで、キャストはシーリングに照らされている。私もある輝いている舞台に立ちたかった。



#### お客様の声

- ・部員1、2のかけあいがとてもテンポ良く、楽しかった。
- ・コメディーとシリアルスの割合がちょうど良く、見ていて楽しかった。
- ・試合観戦の場面で音響が工夫されていた。
- ・体の動きだけで笑いを取り、面白さを表現できるところが素晴らしいと思った。
- ・セリフと同じ応援を言っていたシーンが印象的で素敵だった。ラストもとてもよかったです。

#### 速報係が見た。この劇の感想！

主人公は、滝川のことを自分とは正反対の人間だと思っていた。部員2が「翼をください」の歌詞は逃げていると表現したように、主人公も翼をくださいを歌うことで、滝川から逃げたい、目を背けたいのだろう。バレーボールを隠したのもそれを表現したかったのだろうと思う。ギャグシーンでは、突然の「私がわいい？」が演劇部の謎のノリ感が強く、普段の自分たちを見ている気分になった。私は小鳥遊の「バカはバカみたいに突き進むから天才になる」という言葉がとても好きで印象に残っている。